

1. 研究主題（研究テーマ）

「社会に開かれた中学校社会科の学びをめざして」

～学びのSTEAM化・学びの個別最適化・新しい学習基盤の確立を通して～

2. 主題設定の理由

佐賀市では「社会に開かれた中学校社会科の学びを目指して～ラーニングパートナー（LP）との協働を通して～」を研究主題として、単元を貫く問いの設定、議論を取り入れること、LPの活用を実践して教師の指導力向上や社会科の授業が教室にとどまらず、社会と開かれたものとするを研究の重点として取り組んでいる。また、その取り組みをデータベース化して、どの学校の教員もその活用ができるような手立てをとってきた。また、学習指導要領の趣旨に沿った学習評価となることを目標に、主体的・対話的で深い学びの視点からの学習過程の改善するために、指導と評価の一体化した単元と授業づくりを行っている。

学習指導要領のめざす「生きる力」を育成するには、今後も社会科教育において、社会科の授業をよりよい社会のあり方を考える場とし、社会問題をパフォーマンス課題として設定して学びを進める必要がある。また、学び方の裁量権や学びの評価について社会を構成する幅広い人からの評価にする必要がある。このようなねらいから今年度の研究主題を設定した。

3. 研究内容

- (1) 各分野で研究授業及び授業研究会を実施する
- (2) 単元を貫く問い（パフォーマンス課題）、活動内容、評価、ラーニングパートナー（LP）関係の蓄積
- (3) 観点別の評価と評定の検証

4. 研究の経過

- (1) 歴史的分野の授業提案と研究協議・・・10月12日 川副中学校 副島啓介教諭
- (2) 公民的分野の授業提案・・・11月8日 城北中学校 坂田州永教諭
- (3) 地理的分野の授業提案と研究協議・・・11月30日 金泉中学校 三根頌平教諭

5. 研究の成果と課題

各学校が単元を貫く問いの研究を深めて単元のみをまとまりを意識した授業作りに取り組み、各学校で単元の見通しや評価方法を生徒と共有する単元シートを活用している。教師が生徒に身につけさせたい資質・能力を念頭に置いて授業を進めている。その成果は、支部の自由研究作品の内容にもその成果が顕著に表れていた。

県研究部が提唱する「学びのSTEAM化」については、単元のみをまとめとして、社会問題をパフォーマンス課題に設定する学校が多くなっており、そのパフォーマンス課題をどう実社会に向けてアウトプットしていくかが課題である。そのために表現活動になるように教師が学習のゴールの意識を高め、実践を積み重ねる必要がある。「学びの個別最適化」については、全国大会に向けて『学び合い』を軸として研究を深めている。全員が達成できる学習課題（めあて）を提示し、生徒自らが評価できるように評価基準を明確にしている。「学びの個別最適化」の課題は、授業研究会で授業した内容を佐賀市内の各学校で、先行事例を積極的に取り入れて挑戦する教師集団となるように支部内の連携を強化しなければならない。

佐賀市支部では、授業研究会で本年度より従来の指導案でなく、できるだけ「社会科学の学びのデザインシート」を活用して、研修を深めた。この「社会科学の学びのデザインシート」では、単元の問い、小単元のみをめあて、評価基準に視点を当てた研修が行うことができた。今後、研究を進めるにあたり、授業者の負担を軽減させるとともに授業研究にいつでも取り組むことができる環境を整える必要がある。

1 単元名と単元計画

単元名	単元 3節 産業の発達と幕府政治の動き [全7時間] ※『新しい社会』教科書p124~145 東京書籍	
単元(全7時間)を通じた学習課題: 産業や文化が発達し、都市が繁栄する中で、なぜ江戸幕府は改革を行わなければならなかったのか説明できる。		
時間配当	1時間ごとに全員が達成をめざす学習内容目標(めあて)	
1	p124~125	江戸時代に、どのような産業が発達し、なぜ発達できたか説明できる。
2	p126~127	江戸時代に行われた交通網の整備が、社会をどのように変えたか説明できる。
3	p128~129	徳川綱吉の時代の政治や文化には、どのような特色があったか説明できる。
4	p130~131	徳川吉宗の政治の特色をまとめ、改革の結果を予想することができる。
5	p132~133	田沼意次と松平定信の政治にはどのような特色があったか説明できる。
6	p134~135	社会の変化の中で発展した学問や文化には、どのような特色があったのか説明できる。
7 [本時]	p136~137	水野忠邦が天保の改革を行った理由について時代背景をもとに説明できる。

2 評価規準

本単元(7時間)の評価規準			
具体的な内容/単元末の評価	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	○社会の変動や欧米諸国の接近などを背景に江戸幕府の政治が行き詰まったことを理解している。 ○農業や産業の発展や文化の発展が幕府政治に影響を与えたことを知る。	□天保の改革について時代背景をもとに、評価することができる。 □水野忠邦がどのような理由があり、天保の改革を行ったか説明できる。	○江戸幕府の政治改革が行われた理由や時代背景について、主体的に追究し、解決しようとしている。
	A・B・C	A・B・C	A・B・C

3 本時における『学び合い』のポイント

(1) 導入での語りについて

- ① 享保の改革と寛政の改革について3分程度で復習を行う。
- ② 江戸幕府の鎖国政策について1~2分程度確認を行う

(2) かかわり方が苦手な生徒(個別)に対するファシリテーションの手立て

- ① DAとYKは、学び合いで互いに集中力を欠きやすいため、考える手がかりとなる資料に注目するよう声かけを行う。また、学び合いが停滞している時に他の生徒へつなげる声かけを行う。

(3) 上位層に対する学習の深まりを目指す手立て

- ① 江戸幕府が改革を行った理由を貨幣経済の浸透による年貢収入の減少から探らせる。
- ② 海外の産業革命、資本主義の広がりによる海外進出の波が日本にも及び、その対応を幕府が迫られていたことから改革の必要性を考えさせる。
- ③ 年貢収入にこだわる幕府に対して、商品作物の専売制などで年貢以外の収入を増加させ財政の再建に成功した諸藩もいたことに注目して幕府の改革の評価を考えさせる。

(4) 低位層に対する基礎的・基本的学習内容の定着のための手立て

- ① TA、UUには、教科書をもとに助言をし、天保の改革の内容を1つ以上書くことができるようにする。
- ② YKには、天保の改革が行われた理由を1つ以上は書くことができるよう周囲と一緒にするように促す。

(5) 全員達成にむけたまとめの語り

今回のめあては単元のまとめにあたる内容のため、これまでの学習を踏まえ、江戸時代の改革全般について考え、まとめることとなる。上位層の達成のため、外国の日本進出がこれまでの改革の背景と違うことに触れ、各藩の改革の成功例を知ることで、天保の改革の課題に気づかせたい。下位層の達成のために基本的な改革の目的や内容に触れ、基本的語句や内容を定着させてまとめとしたい。

⑦ 外国船の出現と天保の改革

2年 組 号 名前

◎産業や文化が発達し、都市が繁栄する中で、なぜ幕府は改革をせまられたのでしょうか。

めあて

幕府の改革を行った理由は何か、時代背景をもとに説明できる。

問1 教科書 P136図①～③から外国船が日本に來航した目的を考えてみよう。

問2 教科書 P136図④と本文8行目までを参考に外国船に対する日本の対応を説明してみよう。

問3 教科書 P136本文9～14行目と図⑤を参考に、大塩(平八郎)の乱に対して幕府が衝撃を受けた理由を考えて説明してみよう。

問4 教科書 P136本文15行目～P137本文12行目までを参考に天保の改革の特徴をまとめてみよう。

人物	老中：①	将軍：徳川吉宗	老中：松平定信
改革名	②	享保の改革	寛政の改革
目的	国内外の危機に対応し、幕府の(③)を回復させるため。	財政の立て直し	財政の立て直し
改革の内容	◎ (④) を出し、町人の派手な暮らしを取りしめる。政治批判や風紀を乱す(⑤)の出版を禁止。 ◎ (⑥) の解散 (理由) ⑦ ◎アヘン戦争で幕(⑧)がイギリスに負ける→(⑧)のとりやめ。外国船への燃料や水をあたえることを許可。	上米の制 新田開墾 俵約令 年貢のかけ方を変更	農民を村に帰す 商品作物の栽培を制限 きぎんへの備え 旗本御家人の借金帳消し

	◎海防の強化のため、(⑨)や(⑩)周辺を幕領にしようとする。→(⑪)や旗本が反対		
考え方	商業中心から(⑫)中心に戻すことで年貢の収入で幕府を立て直す。	年貢収入を増やし、俵約令で支出を減らす。	農民からの年貢が減っているため、年貢の収入を増やしたい。俵約令を出して、幕府の支出をおさえたい。
結果	⑬	幕府の収入は一時的に増えたが、米価は不安定になった。商業には対応していなかった。	政治批判を禁止したりや出版を厳しく統制したりしたため、人々の反感を買い、定信は老中を辞職した。

問5 教科書 137本文13行目以降と図⑬⑭を参考に各藩の改革についてまとめてみよう。

各藩の財政立て直し 一特産物の(⑱)強化 ※教科書 P287
家柄にとらわれず、有能な藩士を採用

〈改革に成功した藩〉

(⑲) 藩、(⑳) 藩、(㉑) 藩、(㉒) 藩、

これらの藩は(㉓)とよばれ、幕府の政治に関わり、幕末に政治をうごかす。

問6 水野忠邦が天保の改革を行った理由を下からキーワードを選び、説明しよう。

キーワード：外国船の來航 天保のきぎん 大塩の乱 アヘン戦争

問7 天保の改革を評価しよう。

○天保の改革の評価 ※観点によっては、享保・寛政の改革とも比較して考えてみよう。

観点	①外国への対応	②諸藩の改革との比較	③国内への経済政策	④財政の立て直し
評価				
理由				

第3学年4組 社会科学習指導案

期日 令和5年 11月 8日

場所 3年4組 教室

学級 3年4組

教諭 坂田 州永

1 単元名 国の政治の仕組み

本単元で育成を目指す力 主権者として、裁判員制度関わって行こうとする態度を育てる

2 教材名 模擬裁判をやってみよう

3 本時の学習指導

過程	学習内容及び学習活動	形態	教師の指導・支援 ◎遅れがちな生徒への手立て	評価とその方法
導入	1 裁判員制度についての確認をする 2 模擬裁判の流れについての説明を聞く。	斉 個	1 デジタル教科書を使い確認する 2 本時の主題と学習内容を伝え、見通しを持たせる。	
展開	裁判員として事件についていろんな意見を聞いて公正な判決を出してみよう			
	3 番組を視聴する	斉	3 ワークシートにメモをとらせる	ア 資料を使い自分の意見をまとめているか (WS) イ グループ内で出た意見を共有して裁判の判決を導き出しているか。(WS)
	4 判決の争点について確認する。	個	4 メモしたことを整理させる。	
	5 証言や証拠を整理して自分の考えをまとめる。	個	5 判決用紙に自分の判決と理由をしっかりと書かせる。	
6 自分の考えを発表し、グループで話し合う。	G	6 ワークシートにグループ内の発表で出たことを書きこませる。 ◎グループ内で遅れている生徒には他の生徒に聞く・つなぐを促す。		
まとめ	7 他者の意見を聞き自分の考えをまとめる。 (『学び合い』) 8 次時の学習について確認する。		7 学び合いを踏まえて、判決用紙に自分の最終的な判決を書かせる。 8 単元シートのふりかえりを書かせる。	

学びのシラバス (単元計画)	3年 組 号
----------------	--------

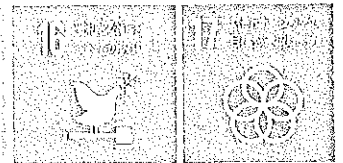
観点	この単元で身につけたい力【学習内容目標】	自己評価
知識技能	<ul style="list-style-type: none"> 法の意義と法に基づく政治の大切さ, 日本国憲法の原則, 天皇の地位と国事行為について理解し, その知識を身につける。 法に基づく公正な裁判が憲法で保障されていることを理解し, その知識を理解する。 	A・B・C
思考判断表現	<ul style="list-style-type: none"> 民主的な社会生活にかかわる様々な事象から現実社会の課題を見だし, 「対立と合意」, 「効率と公正」, 「個人の尊重と法の支配」, 「民主主義」などの見方・考え方を使って, 憲法改正に対する自分の考えを表現できる。 国の政治の仕組みに関する資料を様々な情報集団を活用して収集し, 収集した資料の中から, 国の政治の仕組みを学習に役立つ情報を適切に選択して, 読み取った図表をまとめたりしている。 	A・B・C
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 国における現実の政治に対する関心を高め, 将来国政に参加する公民として, 民主的な政治と政治参加の方法について考えようとしている。 裁判員として刑事裁判の判決を考えることを通して, 裁判員についての関心を持つ。 	A・B・C

パフォーマンス課題	課題に対する最初の考え[]の中をつけること
裁判員制度で裁判員の一人として、判決を提案しよう。	<ul style="list-style-type: none"> 司法の役割 ・ 刑事裁判と民事裁判の仕組み 三審制 ・ 裁判員制度 ・ 司法制度改革

回	日時	学習内容	学習内容目標	全員達成目標 5つの「行く」「かける」
				学習内容目標 振り返り
1	(/)	1 国民の願いを表現するために (P67~) 2 世論とマスメディア (P69~)	全員が、政治と私たちの関係性を「議会制民主主義」「メディアリテラシー」をキーワードに説明できる。	5・4・3・2・1
2	(/)	3 政党の役割 (p73~)	全員が、与党と野党の存在意義を具体的な事例をもとに説明できる。	5・4・3・2・1
3	(/)	4 選挙制度とその課題 p39~40	全員が、様々な資料から選挙区制と比例代表の違いを読み取り、現在の選挙制度の仕組みや課題を説明できる。	5・4・3・2・1
4	(/)	5、国会の役割と仕組み	全員が、国会で①二院制や②衆議院の優越が取り入れられている理由を自分の言葉で説明できる。	5・4・3・2・1

5	(/)	6 国会の現状と課題 p43~44	全員が、国会のルールや法律がつけられる流れを調べ、「日本は国会を一院制にすべきか」自分の考えをまとめることができる。	5・4・3・2・1
6	(/)	7 内閣の役割 (p81~)	全員が、日本の「議院内閣制」の特徴を、アメリカの「大統領制」と比べて説明できる。	5・4・3・2・1
7	(/)	8 行政の役割と課題 (p83~)	全員が、行政改革や規制緩和が進められている背景をもとに、日本は「小さな政府」「大きな政府」のどちらを目指すべきか判断できる。	5・4・3・2・1
8	(/)	7 私たちの生活と裁判 (p87~)	全員が、裁判の仕組みや役割、民事裁判と刑事裁判の違いを資料を使って説明できる。。	5・4・3・2・1
9	(/)	8 人権を守る裁判とその課題 (P89~)	全員が、裁判員裁判が導入された背景を「人権」と「国民主権」と関連付けて説明できる。	5・4・3・2・1
10	(/)	裁判員制度で裁判員の一人として、判決を提案しよう。		5・4・3・2・1

○司法の役割について、自分の言葉で説明しよう。 主 A・B・C



○これからの自分にとって主権者として大事なことはどんなことだろうか？ 主 A・B・C

証拠検討表



メモ

裁判を視聴しながら、証拠や証言、その他に気になったことをメモしよう。

証拠の整理

法廷で出された証拠や証言、その他気になったことが、「強盗殺人」にはたらくか、「単なる窃盗(せつとう)」にはたらくか、整理しよう。

強盗殺人 (金貨を奪うために魔女を殺した)	単なる窃盗 (自分の身を守るために魔女を殺した)

判決用紙



はじめの判断

自分が考える判決に○をつけ、その判決にした一番の理由を書きましょう。

判決	理由
強盗殺人	
単なる窃盗	

友達のかえ

グループで話し合い、「なるほど」と思った意見をメモしましょう。

最終判断

グループでの話し合いをふまえ、最終的に自分が考える判決に○をつけましょう。また、はじめの判断から考えが変わった人は、考えを変えた理由を書きましょう。考えが変わらなかった人は、自分とは反対の人の意見の中で「なるほど」と思ったものを書きましょう。

判決	考えを変えた理由 または「なるほど」と思った意見
強盗殺人	
単なる窃盗	

2年2組(34名)社会科(地理的分野)授業参観デザインシート	
日時 11月30日(木)5校時	場所 2年2組教室 指導者 教諭 三根 頌平

1 単元名と単元計画

単元名	単元 中部地方・東北地方 [全7時間] 第3章第4節・第6節 『中学生の地理』 教科書P222～233, 256～267 帝国書院	
単元(全7時間)を通じた学習課題: 南海トラフ地震に備え、家族を守る防災・減災3か条を考えよう!		
時間配当	1時間ごとに全員が達成をめざす学習内容目標(めあて)	
1	P222～223, 230～231,	全員が、「なぜ北陸地域では地場産業が盛んなのか?」を気候と関連させて説明できる!
2	P224～225 226, 229	全員が、中京工業地帯が工業生産額が最も高い理由を語句「部品」を使って説明できる!
3	P226～228	全員が、東海と中央高地の抑制栽培の違いを特徴的な施設と気候を使って説明できる!
4[本時]	P256～257, 260～261	全員が、冷害が起こる東北地方で米作りが盛んな理由を「銘柄米」を使って説明できる!
5	P258～259, 262	全員が、震災被害を乗り越えるために行われた伝統行事と農業での工夫を説明できる!
6	P263～265	全員が、震災からの復興を目指して漁業や工業ではどのような努力が行われたかを説明できる!
7	P222～233, 256～267	全員が、「南海トラフ地震に備え、家族を守る防災・減災3か条を考えよう!」の問いに対し、自分の考えをまとめることができる。

2 評価規準

本単元(7時間)の評価規準			
具体的な内容/単元末の評価	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	<input type="checkbox"/> さまざまな資料を活用し、中部地方の三つの地域と東北地方の産業や文化の特色を読み取るとともに、それぞれ産業が発達していることや地域的特色や課題について理解している。 A・B・C	<input type="checkbox"/> 中部地方では「三つの地域において、それぞれ異なる産業が発達・変化した背景」、東北地方では、「厳しい気候や震災被害を乗り越えるためのそれぞれの産業での努力や工夫」を多面的・多角的に考察している。 A・B・C	<input type="checkbox"/> 中部地方や東北地方のさまざまな産業が発達した背景や人々の努力を、資料を読み取り、自分の言葉で他者に説明できる。 <input type="checkbox"/> 単元を貫く問いの探究を通して、自分の考えをもち、単元の学習を進めることができる。 A・B・C

3 本時における『学び合い』のポイント

(1) 導入での語りについて

●東北地方の自然環境と関連する中部地方の復習を盛り込み、生徒たちの小学校での学習や既習事項を引き出し、東宝地方の気候や農業に関心をもたせて、めあての確認を行う。

(2) かかわり方が苦手な生徒(個別)に対するファシリテーションの手立て

●自分から進んで友だちと関われないNRに対し、達成者となった生徒に声をかけ、資料の読み取り問題や説明文の作成の仕方を教える関わりをするように指示をする。

●社会の学習に自信を持てず、学習に集中できないMMIに対し、TEに声をかけ、一緒にワークシートを進めるように指示をする。

(3) 上位層に対する学習の深まりを目指す手立て

●ワークシートに作成した説明文を見ずに、他者と会話するように説明することを全体に伝える。

(4) 低位層に対する基礎的・基本的学習内容の定着のための手立て

●『学び合い』の前後にパワーポイントを使った前時の復習や本時の基礎的な内容の復習を行う。

(5) 全員達成にむけたまとめの語り

●積極的に参観している先生に作成した説明文を自分の言葉で説明した生徒を具体的に承認する。

●低位層の生徒が全員達成に向けてどのように活動したかを具体的に説明し、承認する。

単元計画・振り返りシート

2年 組 号

提出用 ※紛失注意

佐賀市立金泉中学校 令和5年度2年生 社会科

このシートは1つの単元(学習内容のまとめ)で何を課題にして学習を進めるかを明らかにしたものです。

毎時間の課題を把握し、『学び合い』での学習を具体的に振り返りながら、ゴールを目指しましょう！

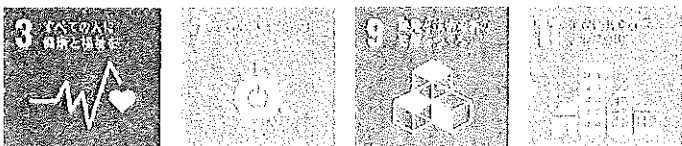
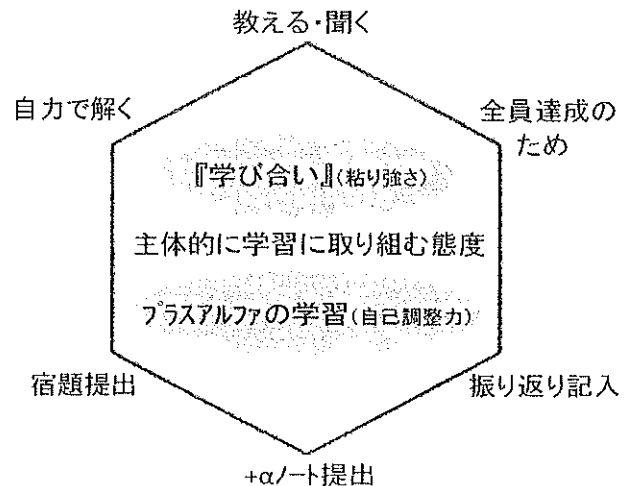
地理的分野	単元名	単元を貫く問い					
第3章第4・6節	中部・東北地方	南海トラフ地震に備え、家族を守る防災・減災3か条を考えよう！					
回	学習内容	めあて(学習課題)	日時	観点1	観点2	観点3	学習内容の振り返り
1	中部地方の自然環境	全員が、「なぜ北陸地域では地場産業が盛んなのか？」を気候と関連させて説明できる！	/ () 達成 未達成	◎ ○ △	◎ ○ △	◎ ○ △	
2	中京工業地帯の発展と名古屋大都市圏	全員が、中京工業地帯が工業生産額が最も高い理由を語句「部品」を使って説明できる！	/ () 達成 未達成	◎ ○ △	◎ ○ △	◎ ○ △	
3	雪を生かした北陸の産業	全員が、東海と中央高地の抑制栽培の違いを特徴的な施設と気候を使って説明できる！	/ () 達成 未達成	◎ ○ △	◎ ○ △	◎ ○ △	
4	東北地方の自然環境	全員が、冷害が起こる東北地方で米作りが盛んな理由を「銘柄米」を使って説明できる！	/ () 達成 未達成	◎ ○ △	◎ ○ △	◎ ○ △	
5	伝統行事と生活・文化の変化	全員が、震災被害を乗り越えるために行われた伝統行事と農業での工夫を説明できる！	/ () 達成 未達成	◎ ○ △	◎ ○ △	◎ ○ △	
6	果樹栽培と水産業における人々の工夫や努力	全員が、震災からの復興を目指して漁業や工業ではどのような努力が行われたか説明できる！	/ () 達成 未達成	◎ ○ △	◎ ○ △	◎ ○ △	
7	単元のまとめ	全員が、「南海トラフ地震に備え、家族を守る防災・減災3か条を考えよう！」の問いに対し、自分の考えをまとめることができる。					

観点3 主体性

点
※先生記入

【観点3の評価の条件】

- 6項目ALLクリア…10点
- 5項目クリア…8点 2項目クリア…2点
- 4項目クリア…6点 1項目クリア…1点
- 3項目クリア…4点 0項目…0点



□これまでの学習をいかして、単元を貫く問いに対する自分の考えをまとめよう！

単元を貫く問い 南海トラフ地震に備え、家族を守る防災・減災3か条を考えよう！

家族を守る防災・減災3か条

その1



その2



その3



Grid for writing the first point.

Grid for writing the second point.

Grid for writing the third point.

【観点2 思考・判断・表現の評価について】☆☆☆...10点 ☆☆...6点 ☆...2点

- ☆...中部・東北地方で学習したことや補助資料をもとに3か条を書くことができる。
- ☆...地震・津波を想定し、「自分や家族をどのように守るか」の説明文を書くことができる。
- ☆...3か条の説明文に「自助」or「共助」or「公助」の語句を使い、関連させて説明できている。

観点2 思考・判断・表現

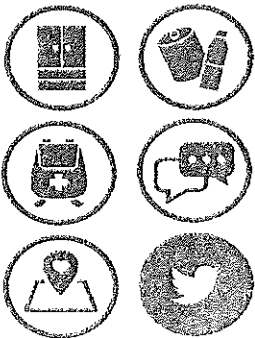
点

※先生が記入

■先生が出した評価を「成績自己管理シート」に記録しておこう。

9月1日は
防災の日

防災の日にはやるべき対策と山崩れ



ハザードマップでわかる情報!

津波危険区画 最大浸水5m以上 3m~5m未満 3m未満	津波避難ビル 土石流 土砂崩れ 地すべり 雪崩
避難場所 避難所 15m~10m ~0.3m	自然災害による通行規制や通行困難になる区域 ()

津波避難ビル

南海トラフ

巨大地震の想定震源域

東北地方の自然環境

地理 第3章 6節「中部・東北地方」教科書P256～261

2年 組 号

単元を貫く問い 南海トラフ地震に備え、家族を守る防災・減災3か条を考えよう！

【めあて】全員が、冷害が起こる東北地方で米作りが盛んな理由を「銘柄米」を使って説明できる！

課題1 東北地方の特徴的な地形や気候について調べよう！

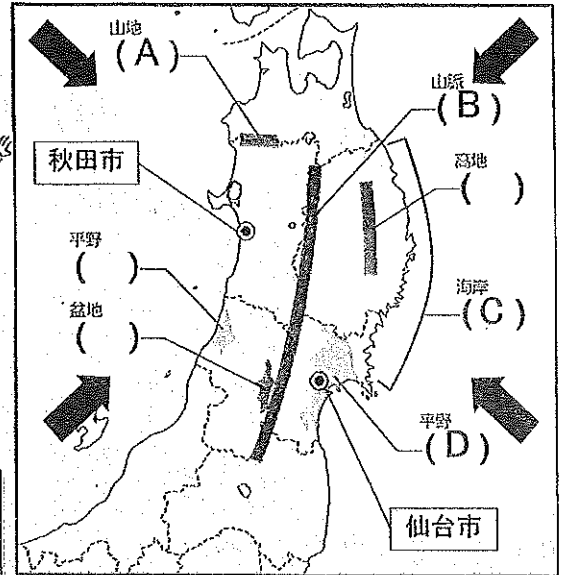
教科書P256 資料①から右地図A～Dの地形を調べよ！【知技】

世界自然遺産 A○○○山地 山脈 B○○○山地【赤】

海岸 C○○○海岸【色】 平野 D○○○平野

太平洋側の海岸Cは小さな岬と湾が入り組んだ地形○○○海岸【赤】が続いている。

教科書P257 本文3行目

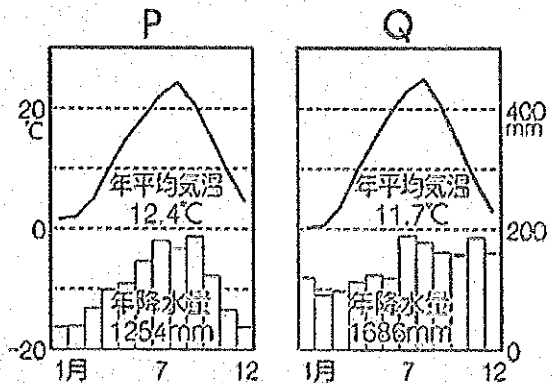


右のP・Qは地図の秋田市・仙台市のいずれかの雨温図である。

秋田市の雨温図はどちらか、説明文を完成させ、気候の特徴を捉えよう。【知技】

秋田市の雨温図はどっち？ 教科書P257 本文8行目～資料⑦

[日本海・太平洋]側にある秋田市の雨温図は[P・Q]です！なぜなら、秋田市は[夏・冬]の[北西・南東]の[風○○○]の影響で雪が多く、降水量が[多・少な]くなるからです。教科書P147 資料④の6つの気候のうちの区分○○○の気候になります。



夏、東北地方の太平洋側に吹くと、曇りや霧りの日が続く、日照時間が不足し、気温が低くなる北東の

冷たい風を何というか。【知技】

教科書P257 本文13行目 風○○○【赤】

地図の4つの矢印の中から1つ、この北東風を示す矢印を選ぼう！

課題2 東北地方の米作りではどのような工夫や努力が見られるかを調べよう！

東北地方は昔から最も米作りが盛んな地方である。東北地方が占める米の生産量を右の東北6県の割合を足すと、東北地方の米の生産量は円グラフの東北6県に全体の割合○○○%であることが分かる！

色を塗り、計算して求めよ！【知技】

教科書P260 資料③

東北地方の米作りにはどのような課題があるか。その1・2をまとめよう！【知技】

米作りの課題その1

語句○○○による被害【赤】

教科書P260 本文10行目

やませによって稲が十分に育たず、収穫量が減る被害



米作りの課題その2

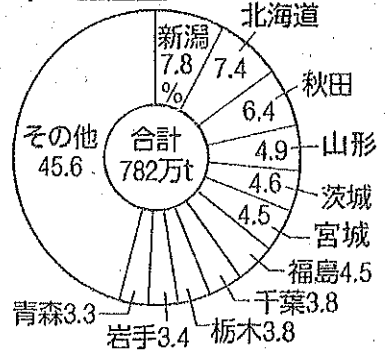
語句政府の○○○【色】

教科書P261 本文3行目

米が余るようになったため生産量を減らす政策(2018年廃止)



米の生産量



教科書P261 本文6行目

「米作りの課題その1・2」を克服するために開発された冷害に強く、よりおいしいブランド化された米のことを何というか。【知技】

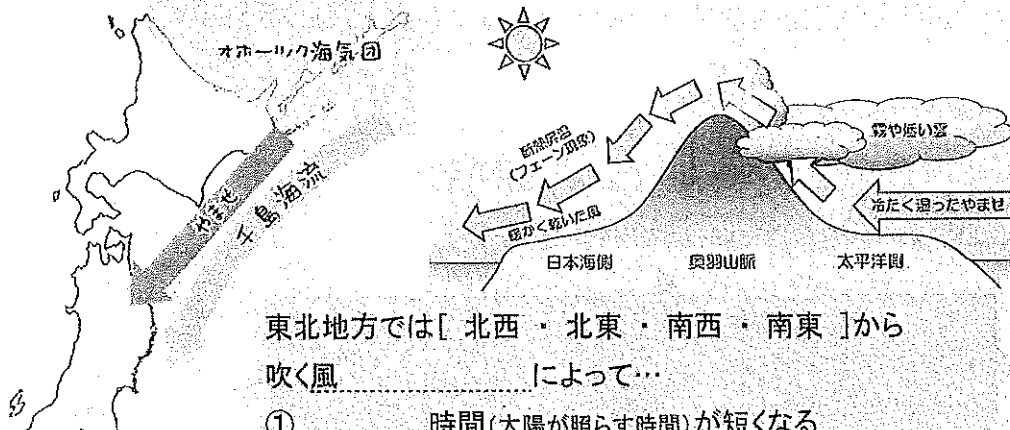
語句○○○(ブランド米)【色】

教科書P261 資料④から、岩手県や宮城県では主に種類「○○○」

秋田県では主に種類「○○○」、山形県では主に種類「○○○」など銘柄米の品種が異なることが分かる！

説明文をつかって今回のめあてを達成しよう！

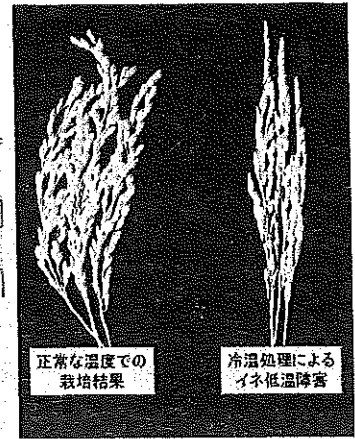
□日本の米どころの東北地方。昔から稲作が盛んであるが、ここまでの米作りは順風満帆ではなかった。気候や時代と戦ってきた農家の努力があった。東北地方の農家の人たちはどのような課題をどのようにして克服したのか、説明文を完成させよう！【思判表】



東北地方では[北西・北東・南西・南東]から吹く風.....によって...

- ①.....時間(太陽が照らす時間)が短くなる
 - ②[夏・冬]に気温が[高く・低く]なる.....など
- 自然災害.....が起こり、
稲が.....。

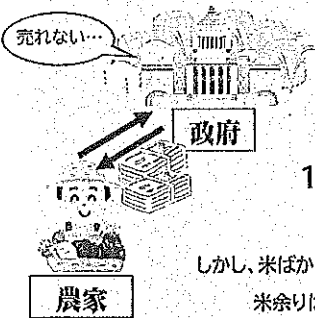
教科書P257 本文12~15行目 教科書P260 解説&本文9~10行目



2021年産東北の特A銘柄米

	地区	品種名
青森	津軽	青天の霹靂
岩手	県中	銀河のしずく
宮城	全域	つや姫
秋田	中央	ひとめぼれ
	最上	つや姫
山形	庄内	つや姫
	置賜	雪若丸
福島	会津	コシヒカリ
	中通	ひとめぼれ

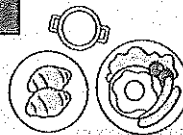
食生活の変化で「米の需要が減る！」



これまで日本は米中心の政策。しかし米の需要が減ったことで政府に米が余る状態に！

↓
1970 減反政策
米の作付面積を減らす政策

しかし、米ばかり作ってきた農家が転作するのは難しく
米余りは以後も政府を悩ませることに...



日本人の食生活が洋食化(パン食・肉食)したことで米が[足りなくなる・余る]ようになったため、1970年に政府は政策.....を行った。その後、農家の人々は消費者に喜ばれる質の高い米.....(ブランド米)の開発を行った。

冷害が起こる東北地方で米作りが盛んな理由

東北地方では北東からふくやませの影響で、夏に気温が低くなり(日照時間が短くなり)、稲が育ちにくくなる。冷害が起こります。また、日本人の食生活が変化し、米の消費量が減ったため、政府によって減反政策も行われた。そこで農家は冷害に強く、よりおいしい銘柄米の開発が進み、米作りが盛んに行われている。

【評価について】☆☆...A ☆...B なし...C

- ☆...冷害が稲作にどんな被害をもたらすか、影響する風を含めて説明できている。
- ☆...稲作の2つの課題をどのように克服しているか、「銘柄米」を使って説明できている。

評価A・B・C
生徒からの評価をお願いします。
※先生・友だち評価OK!

今回の学習のキーワード リアス海岸 季節風 やませ 冷害 減反政策 銘柄米

復習につながるワークのページ 地理ワークP58~61